

「大飯原発動かすな」などと声を上げながらデモ行進する  
人たち＝3日、おおい町本郷

12/7  
福井



## 再稼働反対 500人訴え

### 大飯3、4号 おおいで集会やデモ

関西電力大飯原発3、4号機の再稼働反対を訴える全国集会やデモ行進が3日、おおい町内であり、全国の反原発団体の代表者らが、脱原発に對する思いなどを語った。

集会は同町総合市民センターで開かれ、若狭の原発を考える会など3団体が呼び掛けた約500人が全国から集まった。

あいさつで、同会の木原壯林さんは神戸製鋼所の製品データ改ざん問題で同原発3、4号機の再稼働が遅れることについて触れ「でたらめな部品が使われている原発を動かしていいのか」と指摘するなどし、再稼働反対を訴えた。

また、福井から原発を止める裁判の会の島田広弁護団長が、島崎邦彦元原子力規制委員長代理らの証言を基に「関電は大飯原発の地盤に関してでたらめな評価をしている」などと語った。

このほか、全国各地の反原発団体が「全ての原発を廃炉にするまで戦い抜く」などと決意を述べたり、各団体での取り組みを話したりした。同原発があるおおい町に住む宮崎宗真さんは「北朝鮮のミサイル攻撃の可能性や神戸製鋼の問題などが払拭されない限り、再稼働すべきでない」と語った。

集会後、参加者は町内でデモ行進を行い、「大飯原発を動かすな」「安心安全を脅かすな」などと声を上げた。

(小柳慶祥)